

「島のしくみ」

与論島の活性化のために

法文学部 経済情報学科 1年 谷本鯨太

わたしは、与論島に3日間滞在し、与論島の行政や観光、漁業、販売など様々な分野に携わる多くの人々の話を聞いたり、与論島を散策したりしました。そこで私は、与論島はすごくいい島であるなど実感するのと同時にまだまだ足りないなど思うところがあり、私が3日間与論島に滞在して感じて、得た与論島を活性化させるためのヒントを少しでも与論島民に還元できたらいいなと思います。

与論島は奄美諸島の南端にあって、北緯27° 東経128° に位置し鹿児島から約590km離れた島です。したがって、アクセスが悪く観光客が気軽におとずれにくいというディスプレイバンテージを持っているだけでなく与論で栽培した作物や、新鮮な魚介類を本土の消費者に届けるためには輸送費で多くの費用がかかってしまいます。これを改善するのは立地上どうしようもありません、しかしだからと言ってそのまま引き下がってはいけません。与論島は、たしかにアクセスが悪いという立地的デメリットがあるかもしれませんが、それらを補って余るほどの膨大な立地的メリットが存在します。それは与論島が誇る世界一の海といっても過言ではないほどのきれいな海です。与論島の島の面積は20.49km程しかないため農業や水産業を中心とした街づくりではなく、観光業を中心とした街づくりを通して活性化していくことが必要です。その観光業でキーになるのが与論島の海なのです。

今、現在でも与論島は観光業に力を入れていると思いますが、私がまず現在の与論島が観光業において力をいれる必要があると思うことは、与論島への旅行者、いわゆる観光客に向けた第3次産業の拡大です。その中で特に力を入れなければならないと思うことが3つあります。それは、旅行者に向けた飲食店経営者などの観光客に対する接客の向上化、与論島内に安くて多くの食べ物を食べることができる飲食店があまりないこと、宿泊施設数が微々たるものであることです。

まずは、旅行者に向けた飲食店経営者などの観光客に対する接客の向上化についてです。一般的に与論島の飲食店の多くは繁忙期が観光客の多い7月～9月にかけてです。(多くの観光客が与論の海を目的に与論島を訪れるから)しかし、与論島の小さな飲食店では多くのお客をさばく機会が年中を通してはあまりないため突然多くの来店客が訪れるととまどってしまい料理を提供するのに多くの時間がかかってしまうことがあります。また、与論島は地域性が非常に高く、飲食店でいわゆる常連のお客と経営者のやりとりなどが交わされるため心の中でどこか疎外感を感じてしまうことがあるかもしれません。また経営者側も心の中のどこかで、観光客はお店をリピートしたくても、与論島にいる間しかリピートできず、長期的な客の単価が与論島内に住んでいる人と比較するとどうしても少なく

なってしまうため、扱いがどうしても他の顔なじみの常連客よりも雑になってしまう可能性があります。与論の活性化において、多くの観光客からリピートされるためには接客業の向上化は必要不可欠であると思います。そこで、私が考えた一つの提案としては、リゾートバイト（リゾート地に住み込みで約1ヵ月間バイトを行い給料を得ること、交通費や宿泊費、光熱費は免除される）として与論島内に多くの人々を派遣することです。リゾートバイトを通して多くの学生は与論の魅力を知り、その魅力を知った今度は観光客として与論島を訪れて貰うことができます。また、接客業に慣れている若い人から学ぶべき多くのものもあり、与論島内の接客の質も向上します。

次に与論島内に安くて多くの食べ物を食べることができる飲食店（例をあげるならファミレスなど）があまりないことについてです。与論島を訪れる観光客の多くは若い女性や学生であるので経済的に余裕がかなりあるというわけでもありません、また与論島内の飲食店は大半が居酒屋であるためご飯を食べるといっても、お酒といったものを飲むというのがメインであるので安くてお腹いっぱいにご飯を食べたいといった人たちの需要を満たすことができません。また、多くの観光客は翌日与論の海で泳ぐといった人や、マリンスポーツを体験するというカラダを使ったレジャーを堪能するため、前日にアルコールを摂取しながらいない人もおおいとおもいます。

最後に、宿泊施設数が微々たるものであることについてです。多くの観光客を迎え入れるうえで重要な機能を果たするのがこの宿泊施設です。宿泊施設と観光客はとても密接な関係があるのです。しかし残念ながら現在の与論島の宿泊施設数が多いとは決して言えません。わたしが、夜10時位にスーパーに翌日の朝食を買いに行くとホテルを探しながら歩く若い女性5人組に声をかけられ、与論島に泊まれるところはないかと尋ねられました。私は鹿児島大学の学生で、鹿児島大学の活性化センターに宿泊をしており、たしかに、与論島内を散策してある程度の位置は把握しつつあったのですが、宿泊施設の場所を知らなかったため紹介することはできず、その5人が途方に暮れている姿を目にしました。このような体験をする観光客を増やすわけにはいかないなのでこの問題に対策する必要があると思います。

いろいろと与論島について感じたことを述べましたが、私が与論島に滞在して、もっとも驚いたことは与論島の多くの人々が与論島を活性化させるためにとても熱心に考え、行動している姿です。とてもエネルギーをもって取り組んでいるなということを感じると同時にこれだけの取り組みをしているので今後もっと与論島はよりよい街になっていくに違いないと確信しました。まだまだ後継ぎ問題や、人口の減少など取り組むべき課題がたくさん残されてはいると思いますが、この与論島の人たちならきっと乗り越えられると思います。

そして、私が与論島に滞在して感じたことが少しでも与論島がこれから活性化してより良い島になるうえでの助けになったらいいなと思います。